

## 卒業資格履修単位確認表 (2012年度以降入学生用)

### 文化学科

	授 業 科 目	履修年次と単位数				単位取得済み
		1年次	2年次	3年次	4年次	
統合教育科目等	統合教育科目 ※1-1 ※1-2		16			YES <input type="checkbox"/>
	必修	外国語教育科目 ※2	既習	6		YES <input type="checkbox"/>
			未習	4	4	YES <input type="checkbox"/>
		保健体育教育科目	スポーツ健康学実習	2		YES <input type="checkbox"/>
		基礎教育科目	情報科学基礎	2		YES <input type="checkbox"/>
	選択	統合教育科目 ※1-2		10		
外国語教育科目						
保健体育教育科目		スポーツ実習				
専門教育科目	文化学科スタートアップセミナー		2(前)			YES <input type="checkbox"/>
	地域文化研究総論		2(後)			YES <input type="checkbox"/>
	地域文化研究			2(前)		YES <input type="checkbox"/>
	文化学セミナー			2(後)		YES <input type="checkbox"/>
	必修	文化学必修科目	基礎	8		YES <input type="checkbox"/>
			発展	4		YES <input type="checkbox"/>
	地域必修科目 ※3		16			YES <input type="checkbox"/>
	演 習		12			YES <input type="checkbox"/>
	卒 業 研 究				6	YES <input type="checkbox"/>
	選択	自由選択科目		30		YES <input type="checkbox"/>
卒業に必要な総単位数		128			/	

※については別紙に注意事項があるので各自注意願います。各色が別紙の文字色と適合・該当箇所を表しています。

・共通教育で修得すべき単位の中で注意を要するものは以下のとおりです。

※ 1-1 統合教育科目の必修16単位については、分野ごとに修得すべき単位数が定められています。

人文分野・社会分野： あわせて12単位を含む必要があります。

自然分野： 4単位を含む必要があります。

※ 1-2 修得した総合科目は2科目4単位、共通セミナーは1科目2単位、PBLセミナーは1科目4単位までのみ卒業に必要な単位として認められます。

※ 2 外国語：

既習外国語6単位、未習外国語8単位に注意してください。

未習外国語について

1カ国語のみで8単位を揃える場合 → ドイツ語、フランス語、中国語にて可能。

複数外国語で8単位揃える場合 → 全メニューから2カ国語を選び、各4単位履修してください。

但し、3カ国語以上での複数外国語の組み合わせは不可。

良い例 ○：ドイツ語8単位

○：中国語4単位・朝鮮語4単位 計8単位 etc

悪い例 ×：ドイツ語4単位・中国語2単位・朝鮮語2単位 計8単位 etc

・専門教育科目で修得すべき単位の中で注意を要するものは以下のとおりです。

※ 3 地域必修科目： 16単位を「セット履修」する必要があります。

同一名称の科目を履修するときの注意： 2科目4単位（会話・作文の場合は2科目2単位）で1セットと考え、1セット履修したときはじめて地域必須科目の単位として認められます。1セットに満たない場合や、1セットを超えて履修した場合には、下記の例のように、自由選択科目の単位として扱われます。

例： 同じように16単位修得した場合でも

○： 必修単位数を満たす

×： 必修単位数に満たない

日本の思想A	} 2科目4単位	日本の思想A	2単位	} 2科目4単位
日本の思想B		日本の歴史B	2単位	
日本の歴史B	} 2科目4単位	日本の歴史C	2単位	
日本の歴史F		日本の歴史D	2単位	
日本の文学A	} 2科目4単位	日本の歴史E	2単位	} 2科目4単位
日本の文学B		日本の文学A	2単位	
日本の社会A	} 2科目4単位	日本の文学B	2単位	
日本の社会D		日本の文学N	2単位	
地域必修科目	16単位修得	地域必修科目	8単位	
		自由選択科目	8単位	

自由選択科目にカウントされる理由

※ 日本の思想Aについては1科目2単位しか修得していないため（1セットに満たないため）。

※ 日本の歴史D、日本の歴史E、日本の文学Nについては同科目にて2科目4単位を修得済みのため（1セットを超えて履修したため）。

なお、セット履修で正しく16単位を修得し、さらにそれを超過して履修した場合には、その超過して履修した地域必修科目の単位は自由選択科目の単位として扱われます。

共通・専門教育科目いずれの場合においても、成績通知書・証明書における下段の単位数は卒業条件等に即した単位数ではなく、修得した単位数全てをカウントしているだけであり、上記の×のような例の場合でも「地域必修 16 単位」と標記されているため注意が必要です。